うるま市のごみはどうなっているの？

●ごみの処理

うるま市では循環型社会の形成に向けて、ごみの減量化とリサイクルの促進を目的に5種類9品目のごみの分別収集を行っております。ごみの処理については、うるま市と恩納村で構成する中部北環境施設組合でごみ処理を行っております。

「混ぜればごみ、分ければ資源」きちんと分別し循環型社会を形成していきましょう。

●ごみの排出量

平成18年度のごみの排出量は32,145トンで、1人1日当たりで換算すると、755グラムとなります。

指定ごみ袋制の導入は平成16年度から始まっています。平成18年度と指定ごみ袋制導入前の平成15年度と比較すると約10%のごみ減量化につながっておりますが、近年「もやせるごみ」については増加傾向にあります。1人1人が意識することで、さらにごみ減量化につながります。

（単位:t）

	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度
もやせるごみ	28,736	29,151	27,928	27,867	28,603
もやせないごみ	1,082	2,309	1,018	513	582
粗大ごみ	357	358	650	450	375
資源ごみ	3,719	3,660	3,231	3,131	2,585
計	33,894	35,478	32,827	31,961	32,145

処理されたごみの量	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度
1日当たり	92.8t	97.2t	89.9t	87.5t	88t
1人当たり	295kg	307kg	283kg	282kg	276kg
市民1人1日当たり	808g	843g	775g	752g	755g

（単位:t）

	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度
カン類	1,133	1,061	715	693	544
ビン類	792	729	696	942	896
ペットボトル	172	200	304	357	297
古紙	1,622	1,670	1,516	1,139	848
計	3,719	3,660	3,231	3,131	2,584

●ごみ処理費用

平成18年度のごみ処理経費は、

約11億6082万円

1日当たり　3,180,342円
1人当たり　9,958円
1日1人当たり　27円

●リサイクル状況

平成18年度の資源ごみの排出量は2,584トンになります。資源化量はごみ量全体の12.4%になります。その中で最も多くリサイクルされているものはビンと古紙になります。

うるまJC青年会議所が「ごみ減量大作戦」標語を募集

あなたの手　ごみを拾う　やさしい手
（前原高校1年　上地愛美（うえちまなみ））うるま市長賞

リサイクル　まわして　まわして　ゆいまーる
（前原高校2年　眞鶴ゆかり（まづる））うるまJC理事長賞

もう捨てちゃうの?まだ使えるよ　MOTTAINAI
（前原高校2年　喜屋武鈴香（きやんすずか））中部北環境施設組合事務局長賞

うるま市内の高校から「ごみ減量大作戦」の標語募集をしたところ430点もの応募がありました。厳正なる審査の結果、30点の優秀賞を選びその中からうるま市長賞等3点が選ばれました。表彰式は、10月28日にじんぶん館で行われました。